

牧会ファミリーシート (2023/9/24～2023/9/30)

WELCOME/ 歓迎



- 今週も楽しく牧会ファミリーを進めていきましょう！まずは、簡単なアイスブレイクで、楽しみましょう。

スポーツの秋ですね！サッカーの発祥はイギリスですが、ではラグビーの発祥はどこからでしょうか？

WORSHIP/ ワーシップ



- 【我らの王はイエス】

御神の統治がなされるように 御国がこの地に来るために 絶えず高らかにこの地に宣言しよう

※我らの王はイエス この町の王はイエス この国の王はイエスキリスト ※くりかえし

- それでは、礼拝メッセージからの分かち合いに移りましょう。牧会ファミリーでは、毎週日曜日に教会で語られるメッセージを元に、分かち合いの時を持ちます。礼拝メッセージを聞いていない方でも、大丈夫です。要約の内容から構いませんので、積極的に分かち合いに参加してください。
- 今回のみことばは、第Ⅱコリント 4:10-11 からです。メッセージをもとにした要約を読みましょう。

先日、岐阜県で行われた日本伝道会議に行ってきました。AI の様々な分野での活躍、昨今の新型のウイルス感染症や自然災害など、変化への対応が余儀なくされる時代に突入しているといえます。そのような時代にあって教会も「変化の時が来ている」という認識を持つことが必要です。そのため『「おわり」から「はじまる」宣教協力』がテーマでした。なにかを「はじめる」ためには、それまでのなにかを「おわらせる」必要があります。それは、教会や宣教団体だけでなく、クリスチャン個人においても同様です。しかし、一方で真理であるみことばは変化しません。つまり、教会は「なにかを」変え、「なにかを」変えないのかを真剣に考え、実行する必要があります。

クリスチャンは「世との戦い」を持っているという側面もありますが「地の塩、世の光として歩みなさい」と、世との関わりを持ち続けるよう示されてもいます。「地域に仕えることにより、福音を伝える」ということを、私たちの教会は大切にしています。以前、外部の行政の行事にダイヤモンドチャペルをお貸しした際、紅白の垂れ幕をつけたいとの希望がありました。当時の主任牧師の博先生は、それを承諾し、式典は盛大に行われました。そこに参列されていた市議員の方が、その時のことを覚えておられ、その後野七里移転の際に尽力してくださいました。地域の方々との出会い、繋がりを大切にすることで、証をし、働きが広がられています。このように「仕える」なかで、神の働きは「相手を変える」のではなく「自分が変わる」ことによって進んでいくことを教えられます。

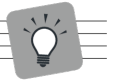
ある宣教師が、宣教が困難な少数部族に遣わされた際、過去に派遣された宣教師により、村の伝統行事を否定されたことから、村人は心を閉ざしてしまっていたという状況を目の当たりにしました。失意のうちに帰国した彼は、人として生まれ、両親と共にエジプトで「いのちを救われる」体験をくださったイエス様のへりくだりの姿勢から、少数部族への仕え方を示されました。(ルカ 3:23a) その後、彼は部族の文化へ寄り添い、彼らの信仰を学びました。そのうちに、彼は聖霊の導きにより伝道し、村長を筆頭に福音を受け入れました。自分に死んで、キリストのいのちに生きたときに、神が働かれたのです。

人を本質的に変え、救うことができるのは、人ではなく聖霊なる神様だけです。しかし、神様は人を用いられます。「神が用いることのできる器」へと人は変えられる必要があるのです。人を変えることはできませんが、自分を変えることはできます。それは、自分自身に死ぬことであると聖書には書かれています。

(マタイ 16:24-25) キリストが私の内に生きて働くために、キリストにあって死ぬこと、これが私たちの願っている「リバイバルの鍵」なのです。(Ⅱコリント 4:10-11) 私たち一人ひとりが自分に死に、それぞれ遣わされている場でキリストのいのちに生きたとき必ず神は働かれます。10×10において次々と救いのみわざがなされていくことを信じています。

1. キリストが私の内に生きて働くために、キリストにあつて死ぬこと、これが私たちの願っている「リバイバルの鍵」。そのためには「神が用いることのできる器」へと人は変えられる必要があります。人を変えることはできませんが、自分を変えることはできる、それは、自分自身に死ぬことだと語られました。ここから、あなたは主に何を語られましたか？ 鎮まり確認しましょう。
2. 1、で主に語られたことを分かち合いましょう。新しい自分に変えられるために、具体的に自分に示されたことがあれば互いに祝福を祈り合いましょう。
3. 今日のメッセージから受けた恵みを何でも分かち合い、祈り合いましょう。

WORK/ わかちあい



- 1、先週、ここで話し合ったことを振り返って、この一週間でどのように進んだかを確認しましょう。感謝と課題を共有し、次のステップについて話し合いましょう。
- 2、この先、以下のような行事があります。牧会ファミリーとしてどのように関わる（オイコスを誘って共に参加する、一緒に奉仕する・・・など）ことができるか、話し合いましょう。
 - ・10/6(金)19:30～21:00 ふらっとラウンジ
 - ・10/14(土)14:00～ ウクライナチャリティーコンサート
 - ・10/20(金)11:00～13:00 希望のとびら(健康体操)
 - ・10/25(水) みちさんぽ 秋のおさんぽ(ソレイユの丘)
 - ・10/26(木)～11/1(水)星野富弘アート展※各行事の詳細については、ファミリー牧者に聞いてください。
- 3、新しい人がファミリーに加わるために、また、オイコスがよりしっかりとファミリーにつながるための企画について話し合いましょう。
- 4、ファミリーメンバーやその家族・友人・近所の人などで助けを必要としている人について、牧会ファミリーとして協力し合えることがないか話し合いましょう。

ファミリー開催後の連絡を、以下の3つのいずれかの中から、やりやすい方法でお願い致します。

- ・教会ホームページの牧会ファミリー開催報告フォームより。
- ・ファミリー報告メール (familyhongodai@gmail.com) より。
- ・右のQRコードより。

◎報告は、ファミリー名、場所、時間、参加者名をお願いします。

